

郵便局守る国会議員支える



改正法成立の謝意を示すと共に、「今後出てくる問題では力添えを」と訴える大久保会長（演壇）

局会社と郵便事業会社の統合などでは、様々な問題も出てくると思われるので、その時には力添えを願いたい」と訴えた。来賓祝辞に入り、石津氏は「見直し法でスタートラインに立つことができた。現場の局長や社員はユニバーサルサービスの名の下で、地域の皆さ



鈴木会長（壇上）による「ありがとうございますました」の発声で杯を上げ、歓談に入る参加者

便局が掛け替えない存在であることが理解された。分断されたものを統合して、本当の改革を進める国民的な運動の流れを作っていくねばならぬ」とそれぞれ述べた。懇親会で綿引議長は、「これからも郵便局を守っていく」と強調。鈴木直登北部地区区会長（高萩花賞局長）の「ありがとうございますました」の発声で杯を上げ、歓談に入った。中締めでは、長谷川良亮中部地区区会長（栄戸局長）の首頭で氣勢を上げ、拳を突き上げて更なる結束を深めた。

茨城県郵便局長連絡協議会（綿引勝茂議長）東部地区区会長・小椋局長は七月二十九日、県内五地区区会から正副会長や理事、監事、部長ら七十七人が出席し、民主党の衆

議院と参議院の両議員を迎えて、感謝の集いを水戸市内のホテルで開き、四月二十七日の改正郵政民営化法成立を祝うと共に、今後も支援していくことを誓い合った。

感謝の集いに87人 茨城県郵便局長連絡協議会

大久保氏は「政権交代がなければ郵政改革は進まなかった。自民党は小泉構造改革でどのような社会を目指したのか。その方向を変えることができたのは、郵政研の支援のおかげだ。皆さんとの約束は自民・公明両党と折り合いを付けて実現することができた」

大泉氏は「これから郵貯、簡保の限度額の引き上げと新商品の提供による経営の安定化、政府の株の保有率である三分の一超を維持していくことなどに取り組む。長期的には郵貯、簡保の資金を財政投融資として、地域の発展に有効活用することの実現を図りたい」

柳田氏は「国民は、ユニバーサルサービスとして

大泉氏は「これから郵貯、簡保の限度額の引き上げと新商品の提供による経営の安定化、政府の株の保有率である三分の一超を維持していくことなどに取り組む。長期的には郵貯、簡保の資金を財政投融資として、地域の発展に有効活用することの実現を図りたい」

柳田氏は「国民は、ユニバーサルサービスとして



長谷川会長（中央）のリードで氣勢を上げ、拳を突き上げる（7月29日、水戸市内のホテルで）

衆院の石津政雄、高野守、大泉章宏、大泉博子、柳田和己、福島伸享の各議員、参院議員の藤田幸久財務副大臣、郡司彰農林水産大臣（代理）が一堂に会しての集いは、司会を富島裕南部地区区会長（土浦中費局長）が務め、あいさつに立った大久保誠之西部地区区会長（八千代菅谷局長）は、「改正法の成立に対するお礼と国政の近況を伺うと共に、十月一日の郵便



石津政雄氏



高野守氏



大泉章宏氏



大泉博子氏



柳田和己氏



福島伸享氏



藤田幸久氏